

ウサギ × 眼科

2名の先生によるコラボセミナーが実現!

ウサギの 眼 を考える

今回は、日頃からスポットの当たりにくい「ウサギの眼」について解説します。臨床で遭遇率が高い疾患を中心に、生理機能から外科治療の管理までを網羅していきましょう。眼科とウサギ、それぞれの経験豊富な先生2名から“多角的”に話を聴くことができる濃密な1日セミナー。普段ではなかなか聴くことができない、情報の少ない分野です。ぜひこの機会にご参加ください。

2014 9.3 WED
18:00-22:00

講師

山下 真 MAKOTO YAMASHITA
眼科
ファーブル動物病院眼科 院長

北里大学獣医学科を卒業後、動物病院に勤務。その後オハイオ州立大学を経て1999年より大阪ファーブル動物病院にて眼科部門を設立。現在は他院からの紹介による眼科二次診療施設として完全予約制で診療を行っている。

講師

吉田 宗則 MUNENORI YOSHIDA
ウサギ
クウ動物病院 院長

酪農学園大学を卒業し獣医師免許を取得。現在はクウ動物病院(本院)にて院長を務める。イヌやネコを始め、エキゾチックアニマルと呼ばれるウサギやフェレット、プレーリードッグなどの齧歯類、インコやオウム、猛禽類を含む鳥類、カメトカゲ・ヘビなどの爬虫類、カエルなどの両生類、魚類も診療している。

会場 AP品川Eルーム (東京)

定員 30名(先着) 対象 獣医師

参加費 11,000円/人

講義内容

ウサギの生理機能

ウサギの治療に関わる生理機能の解説をします。眼部を中心とした頭部の構造やその機能の解説、また治療をする場合の全身的な生理学的機能を理解します。

「ウサギの眼」解剖学

ウサギの眼科疾患を診断・治療するために知っておくべき解剖学的ポイントについて解説します。

眼部に発生する類症鑑別

眼部に症状が認められた場合の類症鑑別について考えます。それは本当に眼部の疾患?どの場所に起因?それとも実は全身的疾患の一症状?その診断についても考えましょう。

臨床で多く見る眼科疾患

ウサギの眼科疾患とその内科的および外科的対応について解説します。ウサギの眼科臨床で遭遇率が高い疾患について、他の動物との比較も交えながら解説します。

外科治療の解説

外科治療を行う場合における麻酔管理の側面からの基準や適応、その方法について考えます。同時に外科的治療後の管理や治療についても解説します。

お申込み後の流れ

ご登録のメールアドレスへ 請求書を送付 ▶ 指定口座へ参加費お振込み ▶ 当日のご案内をメール配信(開催2週間前) ▶ セミナー当日

セミナー情報をメール配信!

セミナー開催が決定したらすぐお知らせ!いち早く知りたいならメール受信が便利!

登録はコチラから▼
www.life-tail.com

お申込み方法



WEBからのお申し込み

▶ <http://life-tail.com>



ファックスでお申し込み

▶ FAX 番号 03-6273-7327

裏面を記入してください